
「MRI 形状解析を用いた

手根管症候群の診断質向上に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録および画像データを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、手根管症候群の症状があり、MRI 検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

手根管症候群の MRI を撮った患者さんで、骨などの構造や形状がわかる特殊な画像の解析を行って、手根管症候群の診断能が向上するかどうかを調べます。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2027 年 11 月 30 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 4 月 20 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

MRI 画像：手関節の画像

診療記録（年齢、性別、神経伝導検査の結果、手根管症候群の診断基準に基づく重症度）

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 IRB において、研究責任者である名川 恵太が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院において、2012 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの期間に 3T MRI 装置を使用し手根管症候群の疑いで撮像した患者さんの検査を実施した際に生じた MRI 検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 放射線科 名川 恵太（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 放射線科 井上 快児
- ・ 埼玉医科大学病院 整形外科 坂口 勝信

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：MRI 形状解析を用いた手根管症候群の診断質向上に関する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学病院 放射線科 名川 恵太

○Tel：049-276-1265 Fax：049-295-8003 E-mail：knagawa@saitama-med.ac.jp（名川）